こどもとしょかんニュース

H29・3・4月号　No.361

友だち

春は友だちとわかれてさびしいこともあるけれど，入学やクラスがえであたらしい友だちと出会う季節でもありますね。
本の中で，友だちはどのように，えがかれているでしょう。

☆友だちっていいな，仲間っていいな。

『ふたりはともだち』
アーノルド・ローベル／作
三木 卓／訳
文化出版局　Eフ

『ともだち』
谷川 俊太郎／文
和田 誠／絵
玉川大学出版部　Eト

『シャーロットのおくりもの』
E.B.ホワイト／作
ガース・ウイリアムズ／絵
さくま ゆみこ／訳
あすなろ書房　93ホ

☆うまくいかないことだってあるけれど…

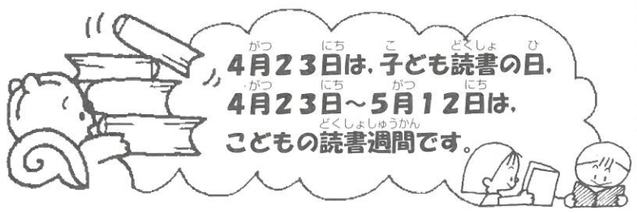
『きみなんか だいきらいさ』
ジャニス・メイ・ユードリー／ぶん
モーリス・センダック／え
こだま ともこ／やく
冨山房　Eキ

『あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま』
イ ヨンギョン／ぶん・え
かみや にじ／やく
福音館書店　Eア

『木かげの秘密』
浅野 竜／作
杉田 比呂美／絵
学研プラス　913アサ

図書館ミニ知識
～ 参考図書ってなあに？ ～

こども図書館にあるたくさんの本は，いくつかの種類に分けてみることができます。
一番親しみやすいのは読みものの本。絵本や物語でしょうか。昔話や詩などもよく読まれていますね。それから知識の本。歴史，社会，自然科学，芸術の本などです。戦国時代のことがのっている本が好きな人，虫の本が好きな人，料理の本が好きな人もいるでしょう。
そして，最後にちょっと聞きなれない参考図書という本があります。
参考図書とは，読みものや知識の本とちがい，はじめから終わりまで読みとおすのではなく，調べることを目的としてつくられた本のことをいいます。のっている事柄は，たとえば五十音順というように，調べやすいように並べられています。必要なところだけを選んで使う「調べるための道具」の本ともいえます。百科事典はこれにあたります。



4月23日は，子ども読書の日，
4月23日～5月12日は，
こどもの読書週間です。

こども図書館の本の展示
3月～4月「昔 話」

総合図書館の特別整理期間のお知らせ

3月6日(月)～3月13日(月)

福岡市博物館からのお知らせ
「本と出会えるミュージアム　2017」

シーサイドももちの福岡市博物館，博多リバレインにある福岡アジア美術館では，4月23日(日)の「子ども読書の日」にあわせて，「本と出会えるミュージアム 2017」を行います。
4月の後半から，それぞれの読書コーナーで，博物館や美術館ならではの本の紹介をします。歴史やアートに興味のある人は，ぜひ来てください。
問い合わせ先：
電話092－845－5011

あたらしい本のしょうかい

幼児から

『こどものなかま』
レイン・スミス／作
青山 南／訳
BL出版　Eコ

幼児から

『人形の家にすんでいたネズミー家のおはなし』
マイケル・ボンド／文
エミリー・サットン／絵
早川 敦子／訳
徳間書店　Eニ

小学一・二年生から

『うみのとしょかん』
葦原 かも／作
森田 みちよ／絵
講談社　913アシ

小学三・四年生から

『だるまちゃんと楽しむ日本の子どものあそび読本』
加古 里子／著
福音館書店　38カ

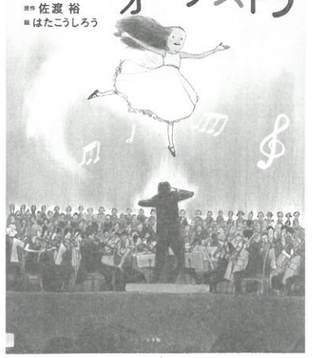
小学五・六年生から

『赤毛のゾラ（上・下）』
クルト・ヘルト／作
酒寄 進一／訳
西村 ツチカ／画
福音館書店　94ヘ

小学五・六年生から

『ぼくらは壁を飛びこえて：サーカスでつながる人種・民族・宗教』
シンシア・レヴィンソン／著
金原 瑞人／訳
文溪堂　77レ

小学一・二年生から



『はじめてのオーケストラ』
佐渡 裕／原作　はた こうしろう／絵　小学館　Eハ

指揮者のパパから，「1年生になったらコンサートに招待するよ。」と言われていた，みーちゃん。
12月の今日，初めてオーケストラを聴きに行きます。曲はベートーベンの「第九」。
みーちゃんのパパのように，実際にオーケストラで指揮をしている佐渡裕さんが原作の，初めてのコンサートにわくわくする気持ちやオーケストラの魅力など，音楽にふれる喜びが伝わってくる絵本。
きっとあなたもコンサートに行ってみたくなりますよ。

毎月23日は 福岡市子どもと本の日

福岡市総合図書館
〒814-0001　福岡市早良区百道浜3-7-1　☎092(852)0600
ホームページアドレス http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/